

# ストレッチ梁受金物 加工図例

## 【ストレッチ梁受金物】

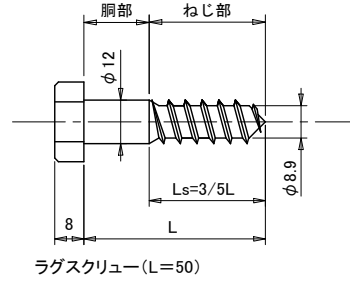
横架材仕口の補強として使用する梁受金物になり、横架材の仕口加工は別途必要となります。  
※ラグスクリュー施工時、先穴を開けてから取り付けしてください。

### 【ラグスクリューの先穴に関して】

胴部の先穴は胴部の径と同径とし、その長さも胴部と同寸とする。ねじ部の先穴は、樹種グループJ1でねじ径の60%~75%、その他の樹種グループでは40~70%とし、その長さは少なくともねじ部の長さと同じにする。  
※日本建築学会「木質構造設計規準・同解説-許容応力度・許容耐力設計法-」より抜粋

グループ	樹種	規準比重※
J1	べいまつ・くろまつ・あかまつ・からまつ・つが 等 (比重が0.50程度のもの)	0.42
J2	べいひ・べいつが・ひば・ひのき・もみ 等 (比重が0.44程度のもの)	0.37
J3	とどまつ・えぞまつ・べにまつ・スプルース・ すぎ・べいすぎ 等 (比重が0.38程度のもの)	0.32

[注]※基準比重:樹種グループ内の気乾比重(含水率15%)の下限値

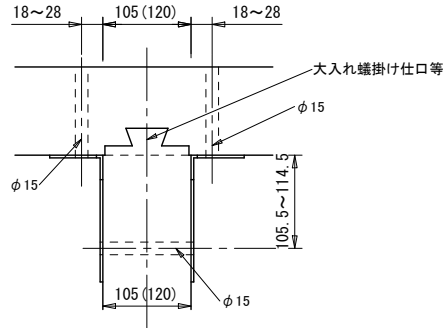


加工寸法表

	L1	L2	L3
SH-210	210	※下部穴のみ	88.2
SH-240	240	※下部穴のみ	118.2
SH-270	270	60	148.2
SH-300	300	90	178.2
SH-330	330	120	208.2
SH-360	360	150	238.2
SH-390	390	180	268.2
SH-420	420	210	298.2

## 梁成 210・240

( )内は120用



## 梁成 270・300・330 ・360・390・420

( )内は120用

